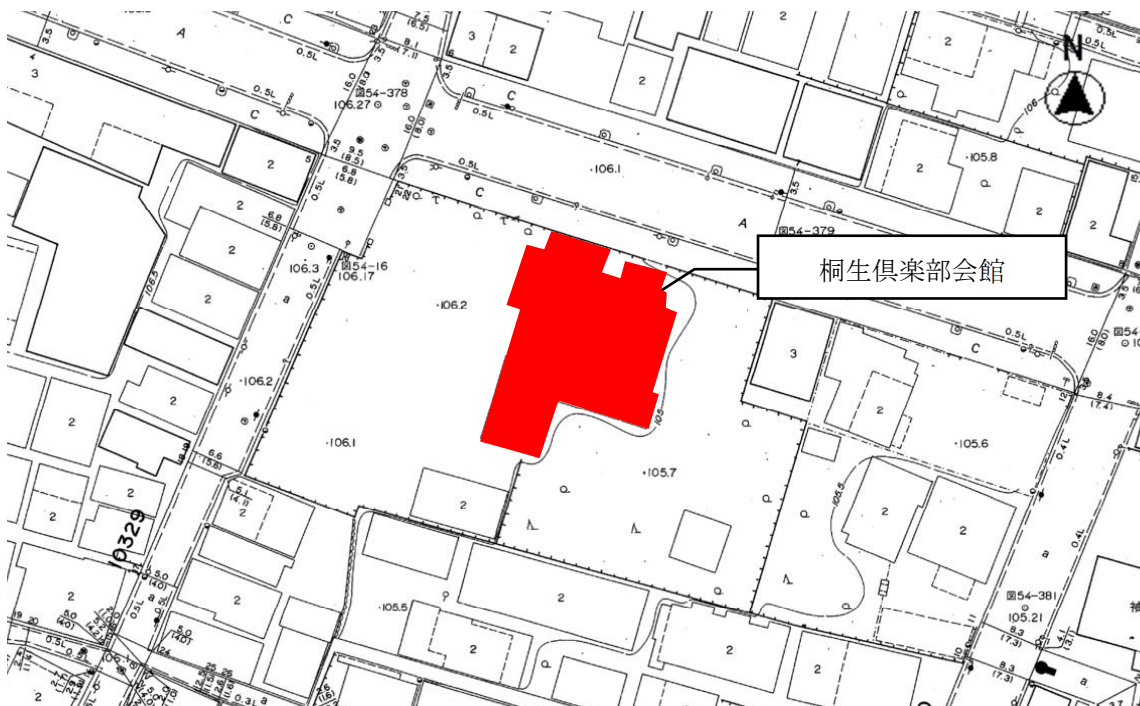
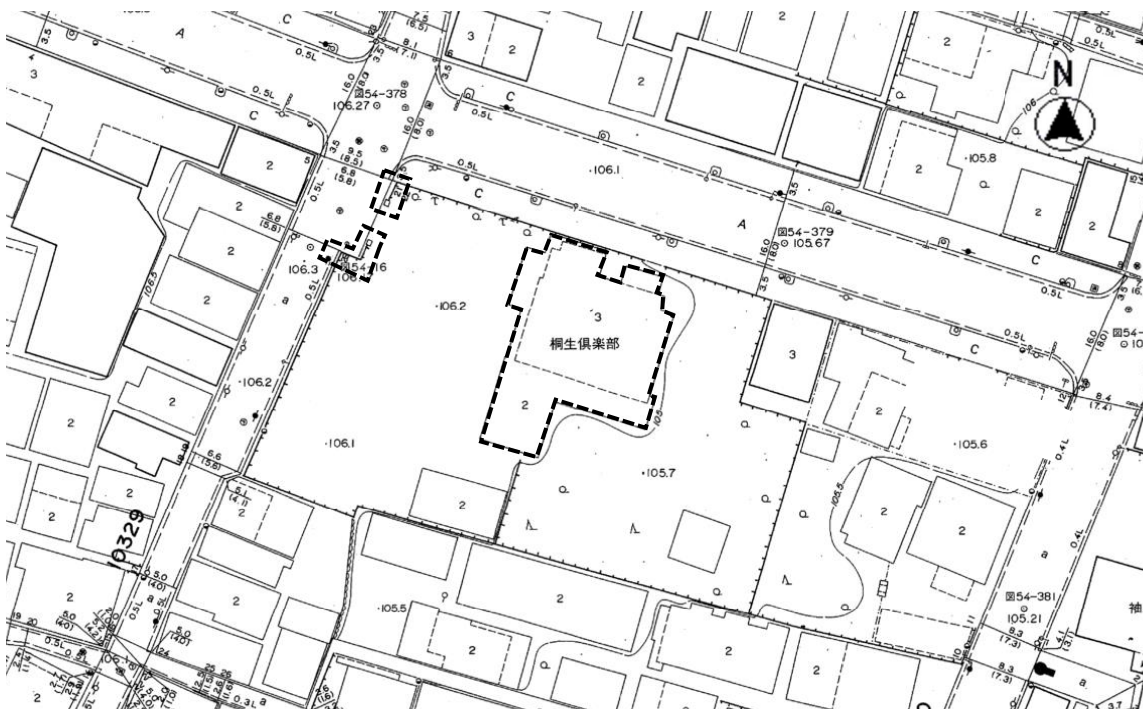


指定番号 1 2 桐生倶楽部会館

| | |
|------|--|
| 所在地 | 仲町 2 丁目 9 番 36 号 |
| 建築年代 | 会館：大正 8 年（1919） 袖付き門柱：大正 9 年(1920) |
| 建築概要 | 会館：木造 2 階建寄棟造瓦葺 袖付き門柱：コンクリート造タイル張り |
| 特徴等 | 大正 7 年に発足した「社団法人桐生倶楽部」により建てられ、桐生を訪れた名士や有志との情報交換等交流の場として利用された。建物は、木造 2 階建て寄棟造で、橙色の瓦屋根やモルタル塗りの外壁、列柱のある玄関ポーチ、小さな切妻屋根を乗せた煙突など、国内でも初期と思われるスパニッシュ・コロニアルの意匠が見られる。桐生倶楽部は、明治 33 年に発足した「桐生懇話会」が母体となっており、当時の地方都市としては珍しく、織物業を中心とした先進的な地元形成者の交流の場、都会から訪れる人達をもてなす社交クラブであったほか、戦後には坂口安吾ら著名な作家が参加したこともあり、文化の向上にも一役買っていた。現在は、建物を一般公開しており、時代に合わせて活動形態を変化させているが、高貴な雰囲気は今でも醸し出している。 |
| 備考 | 市指定重要文化財[建造物]（平成 27 年 4 月 14 日） |



配置図



= 歴史的風致形成建造物指定範囲



建物外観（正面）



建物外観（庭園から）



1階ロビー



2階大広間